

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 061	提案機関名 藤沢市役所
要望問題名 ブドウの新早生品種育成について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 藤沢市のブドウ生産は8月上旬から収穫が始まるが、需要が高まるお盆までに収穫できる品種が少ない状態である。 また、藤沢市で作られた品種として「藤稔」を主にPRしているが、より有望な地元の品種へのニーズが高まっている。よって、8月上旬までに収穫できる早生品種の育成を要望します。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課
対応区分	①実施 ②実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	ブドウの新品種については、生産者団体から赤系大粒種で着色の良い品種の育成の要望もあげられています。また、収穫期前進化技術については、簡易屋根掛け栽培等による盆前出荷の技術が確立されています。 このようなことから、ブドウの新品種育成については、生産者、関係団体との意見交換や消費者ニーズ等を把握した上で課題化を検討します。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			